

Oklahoma Medical Research Foundation

阪下 裕美

私は2017年よりアメリカ、オクラホマ州のOklahoma Medical Research Foundation (OMRF)への留学の機会をいただき、Lorin Olson先生の研究室で3年半、ポスドクとしてPDGFR α に着目した脂肪幹細胞の研究に従事していました。オクラホマと聞いてもイメージが湧かない方も多くいらっしゃると思いますが、私もその一人で、実際に留学が決まるまでは全く知識がなく、地図上での位置さえ知りませんでした。以前オクラホマに留学されていた先生から「何もないところ」という話だけは聞いていたのですが、留学することをずっと夢見ていた私はその言葉をあまり気にしていませんでした。しかし、いざオクラホマに降り立った初日、「何もないところ」という言葉を痛感しました…心のどこかでは海岸沿いのような煌びやかなアメリカを期待していた私にとって初日のオクラホマの光景は衝撃で、私のアメリカ留学生活はこの「予想外」から始まりました。

オクラホマはパンハンドルと呼ばれるフライパンの取っ手部分に似た形が特徴のアメリカ中南部の州で、春と秋は極端に短く、夏は暑くて冬は寒いという特徴的な内陸気候です。州全体にわたり自然に恵まれ、標高差がほとんどない乾燥地帯なので日本とは全く違う自然を感じることができます。また、オクラホマは

Route 66が通るため古くからアメリカ横断旅行者の通過地点であり、今でもカウボーイ文化に触れることのできる「オールドアメリカ」という言葉がぴったりな土地だと思います。そのようなオクラホマの昔からの風を感じつつも、私が所属していたOMRF, Oklahoma University (OU), 大学病院および研究施設を含むOklahoma Health Science Centerはダウンタウンに近接し、あたり一帯は様々な国や文化圏から人が集まる国際色が豊かな地域で新しい風を感じることもできます。もちろんOMRFにも世界各国から熱意と探究心に溢れた研究者が集まり、仕事、私生活の両面で多くの文化や考え方に触れることができ、内陸の州とはいえ、さすが「人種のるつぼ」アメリカだと実感しました。

OMRFは1946年、多くの寄付により設立された研究施設です。設立当初より臨床施設も併設され、臨床と密に連携して行われる研究から基礎研究まで幅広い研究が行われています。同じ敷地内に位置するOUからは独立していますが、OUの大学院生がOMRFの研究室に所属することもあり、また、国外の大学との提携による留学生の受け入れ、長期休暇を利用した高校生や大学生の研究室配属プログラムなど、将来の研究を担う人材の育成・支援にも力を入れています。OMRFは大きくはAging & Metabolism, Cell Cycle & Cancer Biology, Arthritis & Clinical Immunology, Genes & Human Disease, そしてCardiovascular Biology (CVB)の5つのプログラムに分類され、各プログラムに複数のラボが所属するかたちをとっていますが、プログラム内外ともに連携は強く、共同研究も盛んです。Olson先生の研究室をはじめ10人弱で構成

Hiroshi Sakashita

大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
再生誘導医学協働研究所
〒565-0871
大阪府吹田市山田丘 2-8
大阪大学テクノアライアンス AB 棟 6階
Tel : 06-6170-3030 (内線 吹田 3353)
Fax : 06-6170-3035
E-mail : sakashita@sahs.med.osaka-u.ac.jp